

企画調整局

質疑者 北山順一

質疑要旨	答弁者	答弁要旨
<p>2. 市街地西部の活性化について</p> <p>いつも、「都心・ウオーターフロント」と書いて西神戸が忘れられている。西のHAT神戸と言えば、新長田ではないかと思うが、新長田南を何とかしてもらいたいという強い思いから、これまでも何度も西のHAT神戸を真剣に考えてくださいとお願いを言い続けてきた。</p> <p>そのたびに答弁では、「兵庫南部・長田南部も忘れずに取り組んでいきます」、さらには「オール神戸市役所で応援していきます」といういい答えをいただいていた。ところが、現状では何回言っても何も変わっておらない。相変わらず商店街には人がいない。</p> <p>「オール神戸市役所」で応援するというのであれば、新長田再開発ビルに市の部局をぜひ移転してもらいたい。実績がゼロとは言っていないが、本気で頑張ってもらいたい。あわせて、市が総力をあげて大学や予備校を誘致するなど、商店街の灯が消える前に全庁一丸となって取り組んでいただきたいと思っている。</p> <p>いったい「オール神戸市役所」で今日までどう取り組んでいただいているのか、伺いたい。</p>	<p>三木部長</p>	<p>市街地西部地域については、ご案内のとおり、従来から地下鉄海岸線沿線23プロジェクトのうちのひとつという形で、活性化に向け全庁的に取り組んでいるところである。</p> <p>新長田駅南再開発事業であるが、今現在28棟が完成して、あと1棟は今年度完成ということで、入居状況については91%というようにお伺いしているが、住宅についても、商業施設についても供給サイドでは、震災前の規模をかなり上回った規模の供給がされている。それに対して、にぎわいが少ないということだが、これも全庁的に認識しており、いろんな対策を取っている。</p> <p>ひとつは、産業振興局や我々の局とが中心となって、中心市街地活性化の基本計画を作って、アーケード整備等をやっている。</p> <p>もうひとつだが、ご承知のとおり、兵庫県、神戸市とで復興基金を設置しており、毎年度一部新しいメニューを増やしているが、その主なものが、復興市街地の再開発の商業施設等に対するいろいろな支援である。これはいくつかメニューがあり、家賃助成であったり、設備補助、空き店舗に対する施設補助もある。鉄人28号のイベントに対しても基金で支援をさせていただいている。これも我々企画調整局が中心となって産業振興局等とともに要望を行い、メニューを新しくしているところである。</p> <p>それと、新聞等で取り上げられている「鉄人28号のモニュメント」、これについても復興基金の支援をしているが、交通局が、三国志とあわせて、列車運行であったり、壁面のステーションラッピングを行うなど、まさにまちのにぎわいづくりに全庁をあげて取り組んでいるところである。</p>

(要望)

いろいろと一生懸命頑張っていた
だいておることは私も承知してい
る。一番手っ取り早い方法として、
神戸市交通局くらいが新長田に移っ
てはどうか。費用も全部負担するか
ら行ってくれといたら行ってくれ
ると思うが、ぜひ手腕を發揮してい
ただきたい。

ご提案の市の部局の移転については、本年2月か
ら新長田南再開発事務所跡に行財政局の税部門が
入居している。

それと大学の誘致であるが、我々市内の大学の学
長と懇談会を開催するとともに、大学連携支援室を
作っており、これもご承知のことと思うが都市計画
総局とともに市内の大学に対して、新長田への施設
誘致のための、サテライト教室等の検討のお願いの
文書を出したところであるし、現在でも、市内の大
学のキャンパス増設等の情報の収集や、あるいは物
件情報があればお伝えしている。

今現在のところ、都市計画総局の方から聞くところ
によると、残念ながら再開発のほうに入居している
のは、教育関係では塾関係入居者は4社と開いて
いる。

まだ成果不十分ということであるが、今現在我々
の方でマスタープランの検討に入っているので、そ
れに先駆けて、来週第1回目だが、学識経験者の方
も含めた市街地西部地域の活性化研究会を新たに
させていただく。事前に学識経験者の方にも開いて
いるが、長田区南部・兵庫区南部の市街地西部地域
については、賑わいのある市民のくらしと活気があ
るものづくり産業とが両立して、職住が近接する神
戸の都市空間であるので、そういった特徴も活かし
ながら、今まで全庁的にやってきた沿線プロジェク
トの効果の検証と今後の課題の整理、あるいはそれ
らを踏まえた、地域の将来像といったものを検討し
て参りたいと考えている。

